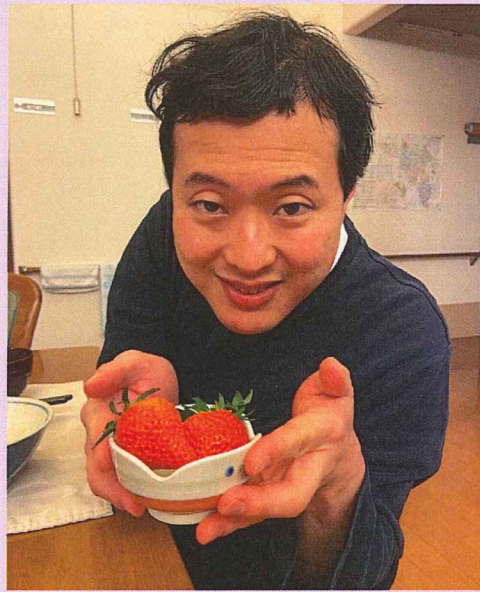


NO. 64(令和4年3月24日発行)



社会福祉法人
愛の鈴
AINO-SUZU

愛の鈴通信



苺、美味しかったですね！

目次

- ・ 理事長のことば
- ・ 町田おかしの家 便り
- ・ ケアホーム愛の鈴 便り
- ・ 法人本部報告
- ・ 町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・ アクセスマップ
- ・ 人事異動、その他

編集・制作：社会福祉法人 愛の鈴

残りの人生 心から「愛の鈴」の人たちを愛する

私は今年3月で87歳になりました。90歳まで約1100日です。人生で一番大切なことは何でしょう？

人間関係だ、コミュニケーションだと教わりました。確かに互いに愛し合えば幸せになれるかもしれない。しかし、お互いの期待に応える、お互いに赦しあえるようになる。そんなことは出来ないでしょう？

ほとんどの夫婦は愛し合ってなんていない。我慢したり、諦めたりしている。私は自分が傲慢で相手を馬鹿にしています。謙虚になりたい、と思ってもどうしてもそうなれない。思えば思うほど酷くなっていくものです。私たちは自分を変えることなんて出来ない。

ところが、聖書には「自分にはできないことでも神ならできると書いてあります。

又「神様を愛する人達すなわち神の計画に従って召された人たちの為には、すべてのことが共に働いて益となることを私たちは知っています。」とも書いています。

神様を信じて神様にお祈りすればなんでも叶えられます。

残り少なくなった人生ですが、謙虚で、神を愛し、愛の鈴のひととを心から愛する人になれますよう毎日お祈りいたします。

2022年3月21日

町田おかしの家 便り

春の繁忙期

1月より桃の節句に向けて花雛や雛あられ袋折りなどで忙しい日々が続きました。先日から、鯉のぼりおかきの作業が始まりました。



基板作業ではドライブ・電源ユニットの解体がスピードアップしています。

クリスマス会 12月24日



皆で大掃除をした後にクリスマス会を開きました。おいしい食事を取り、楽しいひと時をすごす仕事納めとなりました。小野様、恋津様、後援会様、理事長からプレゼントを頂きました。

新年会 1月5日

成人を祝う会 1月5日



仕事始めの日は新年会を行い、新成人となったTNさんのお祝いをしました。

誕生日会

11月
MM (女性)さん

12月
MM (男性)さん
T Iさん
MMAさん YUさん

1月
KHさん
SKさん

3月
KMさん
HTさん
KKさん



お祝いの言葉とともに素敵な花束のプレゼントがありました。

2月3日 節分の豆まき

3月 還暦 (高齢) 祝い

3月3日 ひなまつり

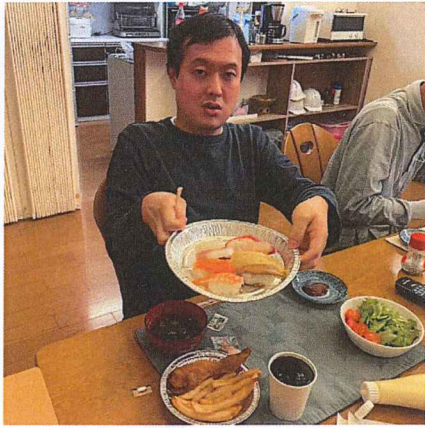


KKさん



ケアホーム愛の鈴

R・Yさんお誕生日会兼 クリスマス会



皆でクリスマスソング
を歌いました

苺祭り



H・Kさんお誕生日会



「やさいのこがねい」さんから差し入れが届きました。
箱を開けると苺の甘い香りが館内一杯に広がりました。
ケーキを作る等して皆で美味しく頂きました。

雑祭り



ご近所の方から、みかんや大根、白菜等を頂きました。



法人本部報告

「理事会 報告」

令和3年度 第4回（令和4年3月7日 午後開催）

- 議案
- ・ 令和3年度 第3次補正予算
 - ・ 令和4年度 事業計画
 - ・ 令和4年度 当初予算
 - ・ 給与規程別表の一部改正
 - ・ 評議員会招集

報告事項

- ・ 法人本部（会計業務の一部委託 他）
- ・ 町田おかしの家及びケアホーム愛の鈴（運営状況報告 他）

「評議員会 報告」

令和3年度 第3回（令和4年3月28日 午後開催）

- 議案
- ・ 令和3年度 第3次補正予算
 - ・ 令和4年度 事業計画
 - ・ 令和4年度 当初予算

理事会・評議員会にて上記議案が決議されました。

「ご寄付受入状況報告」

（前回号から令和4年3月31日現在）（敬称略 50音順）

ご寄付は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。

<法人全体へのご寄付（法人運営資金として）>

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| ・ 浅見源司郎 | ・ 磯西ふみ | ・ 伊藤美保子 | ・ 猪野塚重 |
| ・ 猪野塚睦子 | ・ 植草三樹男 | ・ 宇佐美より子 | ・ 江藤喜代 |
| ・ 尾城真理 | ・ 加藤武仁 | ・ 川上毅之 | ・ 久保田民子 |
| ・ 齋藤謹也 | ・ 齋藤美智子 | ・ 阪智香子 | ・ 須賀みど里 |
| ・ 野田秀子 | ・ 裨津都子 | ・ 坂東道子 | ・ 松岡浩子 |
| ・ 間部耕司 | ・ 森高登志夫 | ・ 横溝肖実 | |
- ・ 宗教法人カトリック横浜司教区小田原カトリック教会
・ 宗教法人大和キリスト教会大和カルバリーチャペル 牧師 大川従道

<町田おかしの家へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・ 秋山訓子
- ・ 田中和子
- ・ 丹後美穂
- ・ 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社

<ケアホーム愛の鈴へのご寄付（事業所運営資金として）>

- ・ 猪野塚幸子

皆様の当法人及び事業所への温かな見守りとご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

*当法人では、引き続き、皆様からのご寄付を募っております。

下記銀行口座へお振込みをいただくと幸いです。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

お振込先：みずほ銀行町田支店（普）1064633

社会福祉法人愛の鈴 理事 植草三樹男

町田おかしの家 ～商品ラインナップ～



こちらから町田おかしの家
ホームページの商品紹介と
商品チラシと申込書がダウ
ンロードできます。

< 2022年 清明 >

人気のおかしシリーズ

各種 1袋120円



揚げ煎 醤油



揚げ煎 アーモンド



揚げ煎 塩



揚げ煎 固粒



揚げ煎 甘辛

大好評のおやつ



プチあんじゅ 120円



こいそ豆 120円

おかき・こいそ豆はご贈答用
に箱・袋詰めを承ります。ご
希望に応じてのしをお付け
します。



15袋入
2000円



5袋入
700円

内容量・価格を
一新しました

チョコラスク

500円 (12枚入)

季節限定商品(10～5月頃)



こだわりの逸品



有明産やきのり 特等 日高昆布
400円 800円

※やきのりは箱詰め承ります。
(3帖・5帖入り、別途100円)

憩いの味わい

おかきのおともに



煎茶
850円



粉末緑茶
700円



上煎茶
1000円

※4月1日より一部商品
価格改定をいたします。

アクセスマップ



就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 小山田桜台行
町田工業高校前 バス停下車 徒歩10分



共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

〒194-0038

東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 野津田車庫前行
・小山田行・橋本駅北口行等 下根岸 バス停下車 徒歩5分



愛の鈴通信を読んだご感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下にご記入の上、法人ウェブサイトもしくはFAX・お手紙等でお送りください。今後の参考とさせていただきます。



<送付先>

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

FAX: 042-792-9767 (町田おかしの家)

042-794-4122 (ケアホーム愛の鈴)

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/3/>

※左のQRコードからお問合せフォームにアクセスできます

ケアホーム愛の鈴では生活支援員を募集しています。詳細は法人ウェブサイトの職員募集ページをご覧ください。ケアホーム愛の鈴までお問合せください。

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/8/>



人事異動

- ・採用：令和4年 1月11日付 町田おかしの家 小山 由起夫 (送迎ドライバー)
- 令和4年 3月 1日付 町田おかしの家 田中 友和 (非常勤)
- ・退職：令和4年 3月31日付 ケアホーム愛の鈴 櫻田 恵美 (非常勤)

編集後記

ようやく暖かい春がやってまいりました。利用者さんにとっては我慢を強いられる日々が続いていますが、早くコロナが終息して自由に出かけられる日が来ることを願っています。

ケアホームではこれからも感染症対策をしっかりと、「皆さんが笑顔で過ごす家」を心がけていこうと思っています。(河本)

3月中旬から約2週間、体験入居された方がいました。

これまでの生活に足りないものが何かは分かっているけれども、その気持ちを飲み込んでなんとなく揃った今の生活を過ごされている様子でした。

ケアホームへの入居は体験前から望んでおられ、入居の可能性が分かっていたからこれまで見ていた景色が光を帯び、望みが叶うかもしれない今心が鳴って、もう少しで届きそうだというご本人の気持ちがこちらに伝わり響きました。

職員の皆さんには心から感謝いたします。利用者さん一人ひとりに職員の温かさが溢れ注がれるホームだからこそ、来る日に心を踊らせている方がいる事に。その様なホームを作り上げてきて下さった日々。

「いつも感謝に堪えません。日本一のケアホームになるように応援しています。」

これは昨年亡くなられたご家族からいただいた言葉です。そっと背中を押してくれる温かい言葉は、私たちにとって何よりもうれしく、勇気を持ち安心して次の一步を踏み出せます。

これからも温かいホームで皆を待っています。

「行ってらっしゃい。お帰りなさい。」(小金井)